



2020年10月30日

各位

会社名 株式会社ミロク情報サービス
代表者名 代表取締役社長 是枝周樹
(コード番号 9928 東証第1部)
問合せ先 経営管理本部長 寺沢慶志
(TEL. 03-5361-6369)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表した2021年3月期通期の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,000	3,580	3,600	2,340	75.79
今回修正予想(B)	33,500	4,400	4,350	2,570	83.45
増減額(B-A)	△2,500	820	750	230	
増減率(%)	△6.9	22.9	20.8	9.8	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	35,501	5,227	5,311	1,839	59.59

(2) 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,700	3,300	2,220	71.90
今回修正予想(B)	29,700	4,650	2,930	95.14
増減額(B-A)	—	1,350	710	
増減率(%)	—	40.9	32.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	31,898	4,917	1,563	50.65

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間におきましては、主力のERP製品による中堅・中小企業の新規顧客開拓に注力したことにより、ソフトウェア保守の契約社数が増加しました。さらに、クラウドサービスの提供やERP製品のサブスクリプションモデル(利用料方式)による提供を本格的に開始したことにより、

ソフトウェア使用料収入が伸長し、ストック型のサービス収入が増加しました。また、原価低減や経費削減等により、前回発表の通期連結業績予想に対する経常利益ベースでの進捗率は69.5%となりました。

第3～4四半期におきましては、クラウドサービスやERP製品のサブスクリプションモデルでの提供をより一層推進し、サービス収入の増加に努めます。また、徐々に活動量を増やしてお客様との対面でのコミュニケーションやオンライン・オフラインでのセミナー・研修会を積極的に開催するなど、新規顧客開拓のための販売促進活動を強化する予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、4月に発出された緊急事態宣言に伴う外出自粛要請を受けて社会・経済活動が急速に停滞し、お客様の投資判断に慎重さが見られ、また、当社グループの営業活動やシステム導入支援活動において一定の制約が生じました。今後緩やかに収束に向かうことが予想されるものの、今なお社会・経済活動が回復するまでには至っていないため、先行きの正確な見通しは困難ではありますが、当社の事業環境が正常化するのには2022年3月期以降になると見込んでおります。

これらを勘案し、2021年3月期の連結売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による関係会社の業績低迷等により前回発表を2,500百万円(△6.9%)下回るものの、利益面では、原価圧縮と経費削減に努めることで営業利益は820百万円(22.9%)、経常利益は750百万円(20.8%)、親会社に帰属する当期純利益は230百万円(9.8%)、それぞれ前回発表予想を上回る見通しとなりましたため、通期業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上